

平成30年度 八尾市
校区まちづくり協議会で活躍している女性の交流会

やおキラ交流会 開催レポート

「男女がともに輝き、誰もが活躍するまちづくり」を
市政運営の一つの柱として掲げている八尾市では、
多くの女性の活躍が地域活動を支えています。

今年度も、市内28ヶ所の
校区まちづくり協議会にかかわる
女性にお集まりいただき、

校区を超えた交流と課題の共有、
またその解決に向けた意見交換を行う
「やおキラ交流会」を
2回にわたって開催いたしました。

今後の女性活躍・地域課題の解決に向けた
大きなヒントとなることを願い、
交流会の開催レポートをお届けします。

第1回 校区まちづくり協議会で活動している女性の交流会 やおキラ交流会

「コーディネーター講演

なぜ、いま地域において女性活躍が求められるのか

八尾市では、今後、人口減少と少子高齢化が同時に進むことが見込まれているなか、一人ひとりの市民が身近な地域でのつながりを持ち、安心して暮らし続けることができる地域コミュニティの形成が求められている。

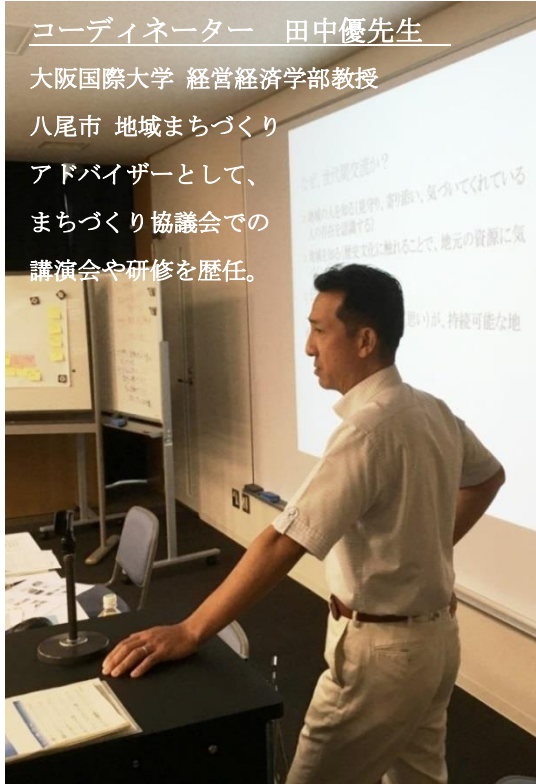
まちづくりにおける女性の視点の重要性

一般的に、男性には「生活リーダー(生活当事者)」の視点が少ない。また、社会の中で弱い立場を身をもって体験している女性の方が、地域社会のニーズを拾うことができる。そして、困っている人を自分自身と重ね、他人事ではなく、自分事として、地域社会の問題に取り組むことができる。

女性は、人間関係を横につなぐことが得意。これからは地域協働でネットワークによる課題解決が求められている。誰とでも話し、協力を要請し、仕方ないなど周りを動かしていける女性の存在が、まちづくりにおいて絶対的に必要!!

能力や思いのある人が活躍できる地域社会へ

肩書きがある立場には、「男性だから」といった理由で、現在も男性が前に出ていることが多い状況である。女性が地域で活躍する機会が少ない。また、この状況で活躍しようと思う女性も少ない。



コーディネーター 田中優先生

大阪国際大学 経営経済学部教授

八尾市 地域まちづくり

アドバイザーとして、まちづくり協議会での講演会や研修を歴任。



環境を作り、整え、育てられれば、女性がリーダーシップをとった地域活動は活発になる

「女性の2/3が管理職になりたがらないが、背中を押してくれるなら、なってもいいと考える人は2/3いる。」という話がある。これは、地域活動でも同じと言える。女性がリーダーシップをとりやすい環境を作り、整え、育てられれば地域活動は活発になる。

女性達のロールモデルになっていただきたい

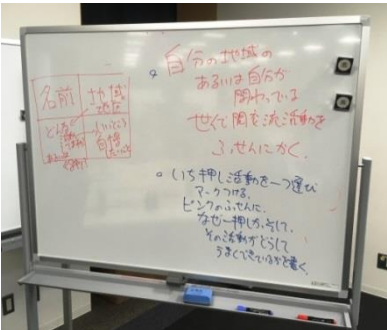
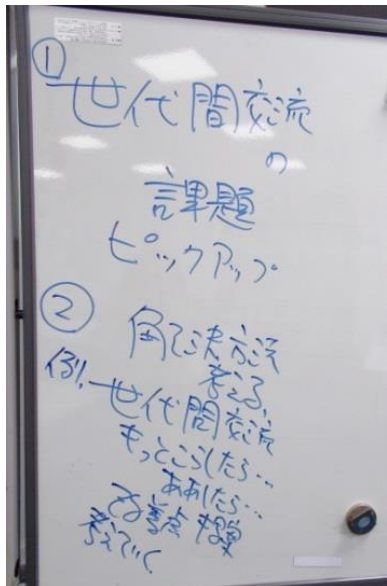
女性は、初対面でも年齢・地域差があっても、すぐに打ち解けて話せる力や、2つ以上のことを同時にする能力など、時間の使い方・感覚が高い。また、過去の慣習に囚われることが少ないため、改善できる力がある。そして、生活に根差した視点を持ち、地域の様々なニーズが拾える「生活リーダー」である。周囲の人間を巻き込む力もとても高い。これらを地域社会で発揮してほしい。地域に帰って、様々な活動をしていく姿を後輩に見せてあげて欲しい。地域の女性たちのロールモデルになっていただきたい。また、この交流会をきっかけに、参加者同士が繋がりが、栄養を吸収し合い、しんどい部分も乗り越えていただきたい。

地域活動を活発にするための「世代間交流」の有効さ

地域活動にどのように参加したらいいかわからない方にとって、世代間交流は地域に溶け込む機会となりやすいものである。また、子どもを通じての交流で、その保護者が地域とつながっている世代は多い。これらからも、「世代間交流」は地域住民、子ども、その保護者をつなぎ、地域活動を活発にする上での一つのきっかけとして優れていると読み取ることができる。

ロ 「世代間交流について」グループワーク

自分の地域で関わっている世代間交流をそれぞれ書き出しました。その中で自分が一番良いと思う世代間交流を選び、その理由を考えました。



- ・子ども、親、高齢者など年齢を問わず楽しみに遊びに来る。
- ・みんながいきいきしている。見守る人も楽しんでいる。
- ・準備においても、様々な世代・業種・団体が協力し合っている。
- ・出店などでは、お互いが運営側にもなり、参加側にもなれる。
- ・乳幼児からお年寄りまで近い距離で集える。
- ・様々な年代が参加できる催し物がある。



目 次

世代間交流は、次の世代の地域への愛着を育み、人を育てることにつながる。

地域の課題に対応したり、良さを伸ばすイベントを実施し、世代を超えた交流を通じて「地域が無くなってしまうように、次の世代が関わりたいと思える地域への愛着を育むため」に、世代間交流を行っているのである。

世代間交流を行う上では、「地域を見守り、育み、寄り添っている様々な人たち」「地域の風土や文化、歴史」を参加者に知ってもらうことが重要である。これらを知ること、次の世代の地域への愛着を育み、人を育てることにつながる。

今回の課題として、自分の地域での世代間交流において「関わる人が少ない」「参加者が限られている」などの課題をピックアップし、どうすれば解決できるのか「改善策」を提案する。

第2回 校区まちづくり協議会で活動している女性の交流会 やおキラ交流会

Ⅰ コーディネーター講演

世代間交流について、前回回答していただいたアンケートを振り返りながら、講演が始まりました。

年齢や性別にかかわらず、地域活動にさまざまな人が参画できるようにするための工夫について

- ・それぞれの年代が参加できるイベントを開催し、地域の人たちが顔を合わせる機会を増やす。(ふれあい祭り、防災訓練など。)
- ・特技のある人、お手伝いのできる人を捜してお願いをする。
- ・地域のさまざまな団体が、地域活動を単独でなく、協働で出来たら良い。
- ・対話を通じ、地域の特色や良い点等を認識し、地域を好きになってもらう。
- ・子ども達に楽しんでもらえるようにするのが一つの方法と思うので、その工夫を考えたい。



地域活動において、男性ならではの役割、女性ならではの役割というように、性別による役割分担について

・組織のトップは、まだ男性の方がスムーズなものごとが運ばれるような感じがある。

・トップが男性であっても、女性も意見が言いやすい環境を作るのが良い。

・女性は地域の小さなことに気付くと思うので発信(発言)していければ、もっと良い地域づくりが出来るのではないかと。

・男性の積極性など、女性の協調性など、良い所を活かせれば良い。

・男性・大いに地域に顔を出すこと。女性・ネットワークをいかして横の繋がりを育てること。

・まわりの状況を知っているのは、女性が多いと思う。

Ⅱ 「地域での世代間交流イベントについて」グループワーク

一押し世代間交流イベントについて

・ラウンドテーブル

各種団体参加(PTA、各団体、学校、一般市民) 子ども関係く老人まで月に一回、誰でも参加可能。

・高安の里マラソン大会

幼稚園、小学生、中学生全員が走る。PTAを中心に、まち協全員がスタッフとなり、うどん、ぜんざいなどを提供する。30年以上歴史がある。

・中学生への朝食サービス

スタッフは30名程で、様々な団体より構成されている。メニューは中学校の栄養士に相談し、5チームに分かれ調理。前日登録制で、80名程の中学生が朝食を食べる。(1食100円)



目「関わる人が少ない、参加者が限られている世代間交流 改善アイデアについて」グループワーク

改善アイデアをグループで出し合いました。

- ・中学生、高校生もボランティアで手伝ってもらおう。イベントに参加してくれる子供たちを巻き込んでいく。
 - ・大人対象の場になっている「ふれあいサロン」を子どもたちが得意技を発表できる場とし、多くの「あつまり」につなげる。大人も子どももお互い知り合いが増える。
 - ・OB、OGのリーダーを結集して、次世代の育成をしっかりとする。
 - ・前任者が次の人をサポートする体制をしっかりとつくり、いつまでも自分が見え、次の人を立てる。
 - ・中学生を地域の宝とし、地域の良さを分かってもらえるイベントを考える
- 地元の中学生に、地域の一員という自覚をもってもらおう取り組みを行う。
(高校生以上は地域から離れてしまうことが多い。)



コーディネーターより全体の総括

女性はアイデアが生活に根付いていて具体的

女性だけの交流会、正直私に務まるか心配であった。しかし、私のアシストがいらないくらい、どんどん意見が出てきて、話がまとまっていく。また、女性は生活に根付いているためか出てくるアイデアが具体的で、明日から使えるものが多かった。男性の場合、こうはいかない。恥ずかしさやプライドで意見が出てこなかったり、どこかで聞いたような話があったりする。女性は凄いいろんな印象をあらためて持った。

地域活動には「おせっかい」が必要

地域活動にかかわる事に、一歩踏み出せない人は多い。皆さんには、環境を整えたり、サポートをしたりで背中を押してあげて欲しい。どんどん「おせっかい」になって、どんどん巻き込んでほしい。

一年では変わらない

大学教員となり10年となるが、ずっと関わり続けている地域がある。最近ようやく成果が見え、変わってきたなと思うことがあった。本日の参加者皆さんが地域に帰り、今まで以上に積極的に様々な人や事柄に関わってほしい。10年後、自分はいないかもしれないが、そういうモデルを見ることが後進が育つ。それが、今日の中学生へ引き継がれていくことになる。

次の世代にバトンが渡るのが地域の幸せな形

皆さんが、ずっと地域活動に関わり続けるわけにもいかない。まして、それは地域にとっても幸せな形ではない。次の走者にバトンを渡すことで、地域が縦だけでなく、横にも繋がっていく。その中に皆さんがいる事で、円が広がっていく。



感想

①女性に限定した交流会に参加した感想と、今後も交流会をするにあたり希望するテーマや、改善すべき点などがありましたらお聞かせください。

- ・ 世代や地域を超えたお話を聞けて良かったです。
- ・ 「なるほど。そうだなあ。」と気づきが多くありました。
- ・ 他地域の取り組みをたくさん聞けて有意義だった。
- ・ 大変充実した時間を過ごせました。地区に持って帰りたい話題やアイデアが沢山ありました。
- ・ 今後地域活動をするにあたって勉強になった。具体的な案が沢山あった。
- ・ 楽しかったです。話が出来て勉強になりました。
- ・ 4回目の参加となりましたが、毎回違う意見を聞かせていただき良かったです。
- ・ いつもながらバイタリティのある活動に感心しています。参加するとやる気が出るし、帰って地域でチャレンジしたいと思う。
- ・ 他地域の種々の取り組みが聞け、とても良かった。自分の地域でもやってみたいことがあって大変良かった。
- ・ 地域のことをしっかりと考えておられる人に出会えて、良かったと思います。
- ・ 話しやすく、色んな事を知ることが出来て良かったです。
- ・ 他地区の活動内容が聞けて良かったです。
- ・ 他の地域の方とお話が出来て、参考になることがある。
- ・ なかなか次世代につなぐことが難しい。。。
- ・ 少人数での話し合いが楽しかった。色々な話が聞けてためになった。
- ・ 毎回、他地域の違った取り組みを発見できて楽しい。
- ・ 自分の地域とは違うイベントを知れて参考になりました。
- ・ 毎回色々な方たちと話が出来、考え方の違いもあり刺激を受けた。
- ・ 住みやすい町にするために、色々考えてくださっている人に感謝します。
- ・ 他地域の方の取り組みを聞いて参考になった。
- ・ 八尾には「パワーのある女性が沢山いる」のだなと実感できた。
- ・ 女性同士で詳しい質問もでき、他の地域のことなどもよく分かった。
- ・ 各地域で様々な取り組みをされていることに驚きました。
- ・ とても熱心に取り組んでおられる話をうかがい、自分の活動を考える機会になりました。
- ・ みんな優しく話しやすかった。他地域の話しは楽しかった。

希望するテーマや改善すべき点など

- ・「文字離れ」をどう考えるか。どう改善していくべきか。
- ・他者の為の行動は自分の成長につながる。今、いきづまりの壁を破る力となることを啓発する。
- ・次回に話し合うテーマを事前に知らせていただくと、取り組みの写真や資料を持ち寄ることが出来るのではないか。
- ・女性の地域活動リーダーのお話が聞きたいです。
- ・できれば毎回同じメンバーで話をする方が良いように思う。
- ・環境によって希望するイベントが進められないのは残念なので、問題点を一つずつ消していければと思う。
- ・長く続けていくにはどうしたら良いですか。
- ・女性リーダーの育成。
- ・防災についてどのような取り組みをしているか。
- ・校区ごとに座談会のように開催してもらえるとありがたい。
- ・同じメンバーが良いと初めは思ったが、メンバーが違ってゆくのも良いと思い直した。テーマを絞っても良いようにも思う。
- ・土曜日の学校や放課後を利用した取り組みに可能性があると考えています。
- ・地域集会所の使い方。

②女性が、地域活動でのリーダーなどの中心的な役割を担うには、どのようなことが必要だと思いますか。(選択回答 複数可)

- ア) 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと 15名
- イ) 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること 13名
- ウ) 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと 12名
- エ) 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること 8名
- オ) その他 3名
- ・ともかく色々な活動に参加すること。行動すること。
 - ・男性の意識を変えることが一番大切(男性のかたい頭・肩書きにしがみつく。)
 - ・自分のことより地域のことを考える。

③ まちづくり協議会や地域で抱えている悩み・問題には、どのようなものがありますか。お聞かせください。

- ・防犯カメラの設置が進んでいるが、重大犯罪以外でも録画を見られるような条件を下げたい。(例…公園の花を取る。猫の置きエサで困っている。)
- ・中心になって行事を進めていく人がいない。手伝いはしてくれるが、地域を背負って立つてくれる人がいない。
- ・中心になる活動拠点が無いので、活動時間や内容が制限される。
- ・自治振の任期が短い地区が多く、まち協の活動に消極的である。市民スポーツ祭でさえ参加したくない地区が多い。活動全体が知られていない。防災など大丈夫かと不安になる。
- ・次の担い手が見つからない。手伝ってはくれるが、トップには立てないと言われる。「私が辞めると、辞めますと言われた。」
- ・各団体が多く、連携が難しい場合もある。もう少しうまく協力し合えば、より多くのことが出来ると思います。行事の整理、合併も必要かと思われる。
- ・今のところ大きい悩みは無いようです。
- ・住民が高齢化し、若い人材が少ない。いつも同じメンバーが手伝いをする。
- ・まちづくりとしての活動は増しているように思う。しかし、志紀地区は市役所からも遠く、出張所業務が無くなって不便を感じている人が多い。近鉄バスの運行もなくなった。
- ・各団体活動に協力することが少ない。それぞれがやっているのか知らない人が多い。実情を知らないため、やりたがらない。
- ・町会に入る人が少なくなっている。後継者問題でしょうか？
- ・自治会への加入や子ども会への加入が減っていること！減っていくと色んなことに関わる人数が少なくなって、一層負担が大きくなっていく！
- ・町会や子ども会に入る人が減っている。
- ・次世代に関わる人が少ない。どのように人材を集めると良いかが一番の悩み。
- ・次世代に引き継ぐ人が育っていない。役員をしたくないから、次回役員が回ってくるのがわかると町会を辞める方がいる。
- ・同じ人が2役3役もついたり、同じ人がずっとしていたりするので、世代交代の為に温かく新しい人を仲間に入りたい。
- ・複数の町会が参加しているので、馴染むのに時間がかかり円滑に物事が運ばないことがある。ほとんどないが、たまに違和感がちよつとあった。(感じ方が間違っているかもしれない。)
- ・地域の組織や団体が多くて、一般の方はそもそも理解できていないように思う。役割の重なり役職の多さのスリム化、合理化も大事だと思う。自分の小学校区では、子どものための活動が手薄かと思う。
- ・後継者不足。正しい知識の教育。
- ・まちづくりを進めていくメンバーが少ない。少ないためメンバーに加入したら大変そうに見えるのか、余計に増えない。

④ 悩みや問題を解決するには、どのような組織(行政・地域団体・市民団体など)との連携が効果的と考えられますか。理由と合わせてお聞かせください。

ア) 行政 5名

- ・地域拠点(コミセン・集会所)が絶対必要。高美小地区は、小学校施設を間借りしているので活動がかなり制限される。

- ・町会や子ども会へ半強制的に入ってもらおうような案が欲しい。
- ・行政の力で区分役割が明らかになるのも良い。具体的なことは分かりませんが

ア) 行政 イ) 地域団体 3名

- ・解決できる力がありそう
- ・男性の意識を変える、男性の為の交流会もして下さい。
- ・校区内で女性のやおキラ交流会をする段取りをして下さい。

ア) 行政 ウ) 市民団体 1名

- ・イベントを増やす。

ア) 行政 エ) その他(学校) 1名

- ・小学校入学や、地域への転入などの機会に、自治会・子ども会へ未加入にならないように工夫できれば改善できるのでは？

イ) 地域団体 8名

- ・新しい人材を見つけるために声をかけまくる。
- ・今の考えに合った自分になること。
- ・それぞれ地域の特色があり、地域が主になってまちづくりをしていく。
- ・お互いの活動を知り、協力していければと思います。
- ・住んでいるところが楽しかったら、進んで色々手伝ってくれそうだと思うから。
- ・一番近い関係者と人脈を探せる。声をかけやすい。
- ・やはり顔がわかるので、安心である。

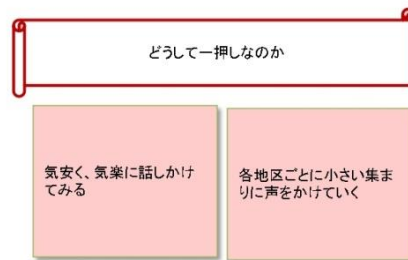
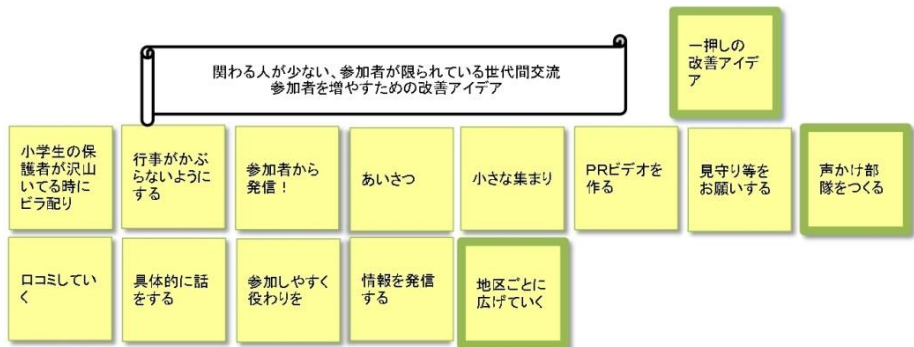
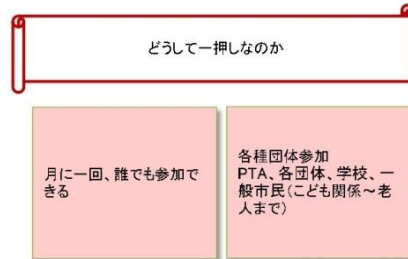
イ) 地域団体 エ) その他(学校) 1名

- ・中学校や高校なども積極的に溶け込んでほしい。

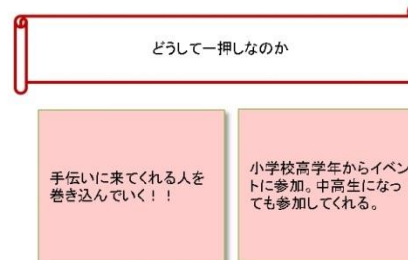
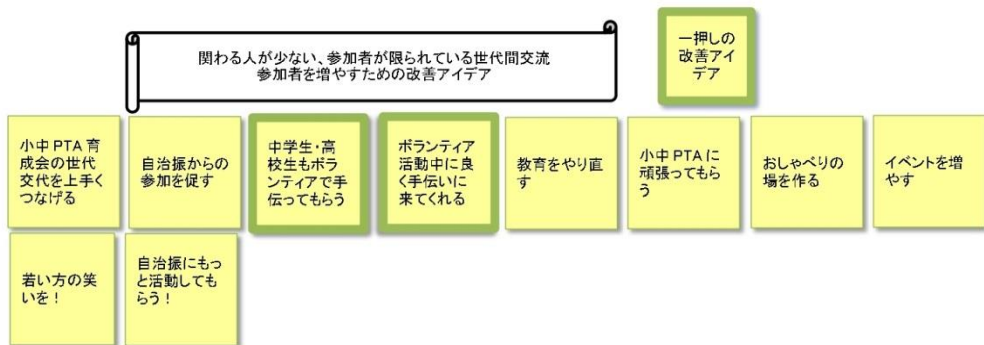
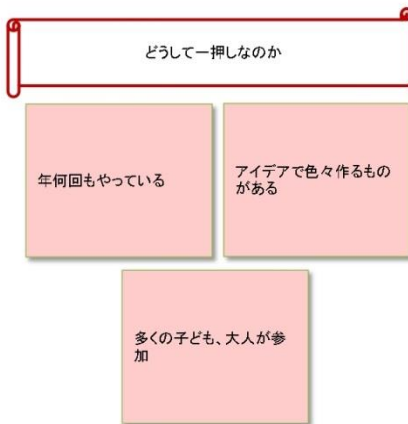
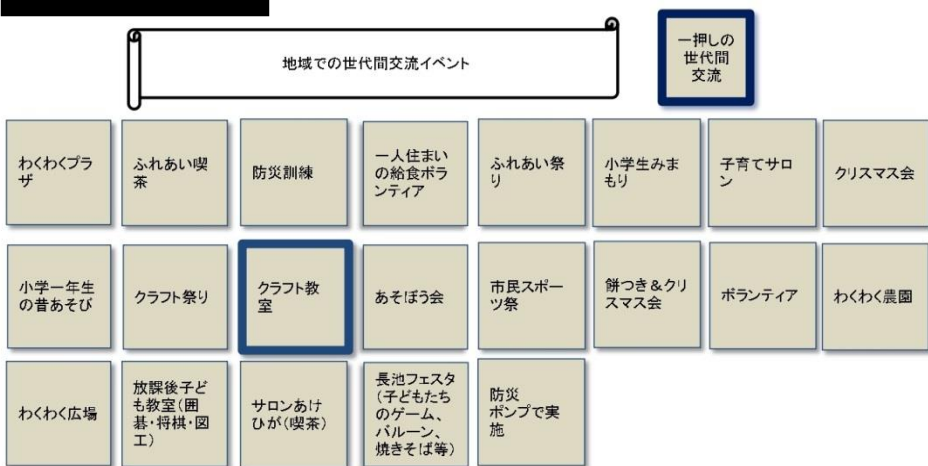
エ) その他 2名

- ・現在、近畿大学の学生が地域活動に参加してくれています。大変助かっています。
- ・みんなが手伝えるまちになって欲しいから。

A グループ



B グループ



C グループ

地域での世代間交流イベント

一押し
の
世代間
交流

ふれあいサ ロン(カラオ ケ)	三世代グラ ンドゴルフ	防災訓練	お一人暮らし 高齢者給 食サービス	子育て支援 ひろば はとぼっぼ	ふれあい祭 り	住民懇談会	川の清掃
市民スポー ツ祭	公園の清掃 花植え	校庭キャン プ	やきいも祭 り	夜店祭	こどもまつり	むかしあそ び	敬老祝葬式
公園清掃	朝のあいさ つ運動	昔遊びを 一緒にする 会	防犯パト ール	地域フェスタ	おもちつき大 会	芸能大会	自転車講習 会
すくすくわ くDOよう び	校庭清掃						

どうして一押しなのか

テントで泊りまでできる協
力体制が素晴らしい。

キャンプファイヤーがす
ごい。

みんなでカレーを作るの
が楽しそう。

関わる人が少ない、参加者が限られている世代間交流
参加者を増やすための改善アイデア

一押し
の
改善アイ
デア

簡単な作業も多 数の人がしないとい けない形にし、ど りあえず活動を知 っててもらおう	「関わりと負担が 多そう」から、「誰 でも気軽に少しづ つ出来る」にイメ ージを変える	給食サービスを軸 に、健康音楽コン サートを地域の方 々に探して参加し てもらおう	公園の花を育てる 人々、子どもから 大人も参加して楽 しみ・喜びを広げ たい	橋根川の清掃に 「中学生」の参加 を考えたい。小学 生は啓発ポスター にも協力してい るので	ふれあいサロ ンで子どもたちが 得意技を発表で きる場にして、多 くの「あつまり」に つなげる
学校を巻き込む。 子どもにも役割を もってもらおう	小学校・中学校で 告知してもらおう	楽しいゲームやお 土産を工夫する	知り合い同士で関 わってもらおう	イベントを広く知 らせる	

どうして一押しなのか

自分の書いたポスターが
あると参加したくなる。

活発な子を盛り上げる。

大人対象の場になってい
るが、子どもも参加で
きる場(発表の場)にする
と知り合いが増える。

D グループ

地域での世代間交流イベント

一押し
の
世代間
交流

防災訓練 (防災頭巾 製作も)	なんでも言 わん会 (全住民のミ ーティング)	燈路祭り (出し物 燈 路製作)	市民スポー ツ祭	放課後 こども教室	わくわくdoよ うび (子どもの為 の遊びの日)	地域美化活 動 (花の手入 れ、ゴミ拾 い)	夏祭り (こども会、 布団太鼓引 き)
好きやねん 久宝寺祭り (三世代交 流)	登校時・下 校時 見守 り・声かけ	校庭開放 (遊びの見守 り)	給食サービ スの時に、年 に三回6年 生も一緒に 給食交流	ふれあい祭 り	下校見守り の時に声を よくかける	ふれあい喫 茶(親子・ 孫と一緒に)	一年生の昔 遊びの学習 に40人が協 力
戦争の頃の 話(3年生と 交流)	はとぼっぼ 子育て	わくわくプ ラザ (第2・4土 曜の午前中)	高齢者お食 事会 みちくさ会 (福祉委員 会)	地域フェスタ (まちづくり 協議会)	防災パト ール 夏休 み・冬休み (町会)	ふれあい夏 祭り(町会子 ども会)	公園清掃・ 草引き・地域 掃除(町会)

どうして一押しなのか

20年継続
10 種目・スタッフ 50 人 以
上
学校教室・集会所使用

20 年以上続いている。
50 人以上の人が協力し
ている。

長期間続いている。
得意なことを活かせる。
⇒前向きに協力できる。

関わる人が少ない、参加者が限られている世代間交流
参加者を増やすための改善アイデア

一押し
の
改善アイ
デア

学校でも隣・ 近所意識をも っと持つよう 導く	地域のキー パーソンを 発掘する	去年と同じ をなるべく無 くす	企画を地区 民につのり、 実行する	仲間うち意 識をやぶる	地区中に QRコードを 貼り、入り口 として使用 する	PTA 役員さ んに福祉に 入ってもら う	している事 を知ってもら う。何をし ているのか分 りやすくする
分かりやすく 広報し、ハ ードルを下 げる	後継者を早 くに探し、決 めてしまう	地域活動 を学ぶチャ ンスをひろ く、回数も 増やす	誰でもつな げる キラリさん をつくる	高齢クラブ に入る人・若 手を増やす (60代)	個人をつな がりて福祉 に誘う	子ども会を 復活させて もらう	色々な行事 でつながり を作る・楽し さ・大切さを 知ってもらう
無理のない 活動内容 ・会議短縮 ・SNS 活用	組織・団体の スリム化。役 職、役割の 重なり。理解 されていない						

どうして一押しなのか

知ってもらうことが大切

人を引き付ける人をつ
つける

心を耕す

E グループ

地域での世代間交流イベント

一押し
の
世代間
交流

どうして一押しなのか

春ごと昔の農家でやっていた事を体験しようと始めた。家族で参加。	とんど焼きしめ縄を持ってきて焼く。その時焼き芋を著で食べる。	市民スポーツ祭 (幼児から老人まで。主催は小PTAから老人会)	ふれあい祭り (他地域から来られている。主催は小PTAから老人会)	防災訓練 (幼児から老人まで。主催は小PTAから老人会)	餅つき大会 (幼児から老人まで。主催は小PTAから老人会)	みんなで遊ぶ会。クラブ祭り。(幼児から小学生。主催は小PTAから福祉委員会)
グランドゴルフ (小学生から老人まで。主催は小PTAから福祉委員会)	クリスマス会	ニュースポーツ	ふれあい朝市	ふれあいフェスティバル	中学生の朝ごはん	志紀フェスタ
きずな食堂	まちづくり盆踊り	年末ふれ合いもちつき	地域の火掃除	放課後授業	中学校の菜園	こども食堂

八尾で初めてのこと。新聞社も注目。5チーム6人。30人ほどが関わっている

関わる人が少ない、参加者が限られている世代間交流
参加者を増やすための改善アイデア

一押し
の
改善アイ
デア

どうして一押しなのか

人脈をつくること	役職無しで手伝っていく	いつまでも自分がせず、次の人をサポートする	任期を決める	人脈を広げ得意分野をもっている人材をさがす。	自分が辞める時、次の人をさがして辞める	言うことは出来るが、行動を起こすこと	順番でもやる気のない人はダメ
出来る人がする							

交代をしても内容がわからないので、次の人をサポートする

色んな場所に顔を出す。パソコン得意、料理好きなど、何か特技を生かしてもらおう

F グループ

地域での世代間交流イベント

一押し
の
世代間
交流

どうして一押しなのか

親子ふれあいフェスタ in 玉串川	ふれあい喫茶	フェスタ長池 (幼児・小学生・育成会・自治振・民生委員・高齢者)	クリスマス会 (一人暮らしの高齢者と小学生、育成会の皆さん)	給食試食会	昔あそび 1,2年生	子どもふれあい祭り
防災訓練	市民スポーツ祭	ほっとカフェ	敬老祝寿会	朝夕見守り活動	わくわくDO ようび	卒業お茶会 6年生
声かけ運動	サマーフェスティバル	幼稚園 スマイルタイム (音遊び、くぎ打ち、身体を動かす遊び)	長瀬川桜まつり	燈路まつり	子どもみこし	地域清掃・学校主体・地域主体

川の清掃と金魚すくいお父さんとの交流

関わる人が少ない、参加者が限られている世代間交流
参加者を増やすための改善アイデア

一押し
の
改善アイ
デア

どうして一押しなのか

PTA	PTA 役員が地域に残るシステムを作る	PTA 指導員が終わったら、まず育成会指導員に入っていたら。	子どもの友達	特技の募集をする	声をかけまくる	一人が一人を連れてくる
-----	---------------------	--------------------------------	--------	----------	---------	-------------

PTA 役員現役時代にイベントに参加し、地域に携わる楽しさを味わい、無理強いわく残れるため

G グループ

地域での世代間交流イベント

一押し
の
世代間
交流

スポーツ行事	ふれあい喫茶	高齢者向けの モーニング喫茶	放課後教室イ ベント	クリスマス会	高安ふれあい 祭り	給食ボランテ ア
服部川夏祭り	防災訓練	住民懇談会	やまたけ ふれあい喫茶	高安の里 マラソン大会	芋掘り	町中の清掃
三世交代 食事会	朝のあいさつ 運動	正調河内音頭 のタベ	やまねきマル シェ	世代間交流フ ェスタ(コーラ ス、空手、フラ ダンス)	市民スポーツ 祭	夜回り (12月28日～ 30日)

どうして一押しなのか

・幼稚園、小学生、中学生全員が走る。
・PTA 中心にまち協全員がスタッフ
・うどん、ぜんざい etc 提供する
・30 年以上歴史がある

関わる人が少ない、参加者が限られている世代間交流
参加者を増やすための改善アイデア

一押し
の
改善アイ
デア

参加者の増加 (ふれあい喫茶に町会ごと 参加を強制的 にする)	ふれあい教室 のスタッフを増 やす	次世代の育 成をリーダー がしっかりす る	OB 等に呼び かける	地区みんな の団会で食 事会など	参加者から発 信	自治振、民生 などにこだわ らず沢山の団体 に声かける
広く呼び掛け て参加者を多く する						

どうして一押しなのか

OB、OG さんを編集して、
次世代リーダーを育成す
る。

まち協の役員で食事会
(お茶会)などの懇親・意
見交換の場を持つ

H グループ

地域での世代間交流イベント

一押し
の
世代間
交流

校区清掃 (小学校を中心に 職員、保護者、児 童施設利用団体 を含めて皆で清 掃)	高美フェスタ ・出店 ・ニュースポーツ ・防災グッズ展 示	すくすく子ども 教室 (講師は地域の 大人)	健康ウォーキ ング ・地域の歴史を知 る ・地域を歩いてみ る	市民スポーツ祭	ふれあい祭り (中学校区でステ ージ、フタ出店。中 学生に色々な協 力をしてもらう)	ふれあい喫茶 (高齢者だけでな く子ども、子連れ ママにも参加し てもらえるアトラ クションあり)
中学生に朝 食のサービス (80名、毎週水 曜、申込制、5 グループ、ミゼン で)	青色パトロー ル	防災訓練 ・消防、自衛隊合 同	登校時の声か け運動	独居老人食事 会後、演奏会 などのイベント	サロン	きずな食堂
グランドゴル フ大会	ニュースポ ーツ大会	自転車講習会	校庭キャンプ	声かけ運動	地域パトロー ル	マラソン (小中)

どうして一押しなのか

・スタッフが 30 名程度(色々な団体)5チ
ームに分かれて調理。
・メニューは中学校の栄養士に相談
・前日登録して、80名程度の中学生が
朝食(100円)を食べる。

関わる人が少ない、参加者が限られている世代間交流
参加者を増やすための改善アイデア

一押し
の
改善アイ
デア

中学生を地域 の宝とし、地域 の良さを分か ってもらえるイ ベントを考える	中学生に地域 の一員という 意識をもってもら う	役員・子ども会 やりたくない。町 会も入りたくない 人を、どう参 加してもらえる か。	高齢者でも参加 したくなるイベ ント企画	青年団・壮年 団の祭り	外国籍の人達と の交流	子ども会自体が 消滅してきてい る
食事サービスの 中学生が、クリ アスマス会(感 謝)を開いてくれ た						

どうして一押しなのか

地元中学生に自覚をも
ってもらおう。
(高校生以上は地域から
離れてしまう)

中学生がお世話になっ
た感謝の気持ちを表わして
くれたのがうれしかった。



平成 30 年度 校区まちづくり協議会で活躍している女性の交流会 -やおキラ交流会- 開催レポート
Special Thanks : 八尾市校区まちづくり協議会のみなさま
発行 : 八尾市 政策企画部 政策推進課 女性活躍推進室
平成 31 年 (2019 年) 3 月 刊行物番号 : H30-222